

令和 7 年度 静岡市健康福祉審議会
第 1 回介護保険専門分科会

1 日時

令和 7 年 10 月 16 日（木） 午後 7 時 15 分から午後 9 時まで

2 場所

静岡市城東保健福祉センター 3 階 第 1 ・ 2 研修室

3 出席者

【出席委員】

○介護保険専門分科会

富安会長、青木（皓）委員、青木（秀）委員、石田委員、国京委員、久保田委員、
杉山委員、高山委員、土川委員、松浦委員、八木（志）委員、八木（大）委員

※欠席：市川委員

【事務局】

○介護保険課

平林課長、渡辺係長、板谷主事

○高齢者福祉課

杉田課長、増田課長補佐、深沢係長、安間主事

○健康づくり推進課

長田課長、佐藤課長補佐

○地域リハビリテーション推進センター

岡本地域リハビリテーション推進センター長、丸山係長

○安心感がある温かい社会推進課

田中課長

○区高齢介護課

見城課長（葵）、吉良課長（駿河）、松浦課長（清水）

4 傍聴者 0 人

5 議題

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について

6 報告事項

第 9 期介護保険事業計画進捗状況報告

7 会議内容

【議題】

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について

（平林課長）

資料説明（資料 1、資料 2－1、資料 2－2、資料 2－3）

(富安会長)

それではただいまの事務局の説明について、ご意見等をお願いいたします。

まずは、「令和 7 年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（案）」について、ご意見を賜りたいと思います。

(八木（大）委員)

問 7、8 について、独居の方が非常に多いイメージがあり、エアコンをつけない方が多いため、このように選択肢を設けていただけるとありがたいと思います。交通の便でバスが少ないなど大変な面もあると思うので、それらを踏まえてやっていただければと思います。

ワクチンについて、静岡市は値段が高く打てない方が多いため、もう少し打ちやすい環境を作っていただければありがたいなと思います。

(富安会長)

事前にご意見がありました八木（志）委員いかがでしょうか。

(八木（志）委員)

65 歳以上の方だと独居の方が多いため、寄り添った言葉遣い、言い回しをしていただければと思います。一目で見て分かりやすい用語表現にしていた方が、市のアンケートとして距離感が無くなるのではないかと思います。

(平林課長)

国・県の質問項目は直せない箇所もあるが、市独自の質問項目に関しては、八木委員の指摘いただいたことを踏まえて、検討させていただきます。

(富安会長)

同じく事前に意見がありました村松委員いかがでしょうか。

(村松委員)

前回調査から 3 年経過していることを考慮すると、2025 年に団塊世代が 75 歳以上となり、団塊ジュニア世代が主な介護者となっている中で働きながら介護をしている方が非常に増えているという問題意識を意見させていただきました。

(富安会長)

高齢者の多様化に伴う課題をアンケートによって拾い上げる工夫が必要ということですね。

(松浦委員)

説問 16 でスポーツを加えなかったということだが、65 歳以上の高齢者でスポーツを取り組まれている方も多くいらっしゃるため、加えてみてもよいのではないのでしょうか。

(平林課長)

改めて検討させていただきます。

(石田委員)

独居高齢者に多いが「本来介護サービスが必要な高齢者だが要介護認定を受けていない方」も対象者として抽出されてしまうケースが考えられます。そのような方は回答がすることが難しいことなどを考慮、認識の上抽出いただければと思います。

(平林課長)

地域で孤立している方がいるということは把握しているが、個別事例の把握は現在課題となっている。その中で地域包括支援センターへの相談や民生委員の活動の中からの相談等で対応を考えています。

調査について、そのような方は回答が難しいとこちらでも認識しています。

なお、孤立者に対してのアプローチについては、今後の課題として検討させていただきます。

(青木（秀）委員)

高齢者の中には内容が分からず、家族等の代筆が考えられるが、回答の中に若い世代の意見が含まれてしまうのではないのでしょうか。そのため、本人と家族の意見の区別は分かるようにするべきではないのでしょうか。

(平林課長)

ニーズ調査は高齢者の暮らしの実態を把握する調査のため、意見の区別が分かる調査項目を設ける予定は現状ありません。区別がないため、本人の意見がどこまで反映されているか測り知れない部分はあるが、家族という単位で回答いただいております、正確性の高い調査となっています。

(富安会長)

自由記載欄を削除した件は、今回大きな変更点かと思うが、その件に関してご意見いただければと思います。

(久保田委員)

アンケートが膨大のため、自由記載欄の削除については適切と考えます。

(土川委員)

問 50 など相談相手に薬局が含まれていなかったため、「薬剤師」を入れていただければ嬉しいです。

(平林課長)

検討させていただきます。

(久保田委員)

高齢者の就労項目（問 45）について、就労意欲に係る追加の調査項目を設けてはどうでしょうか。

(平林課長)

調査項目の追加について、検討させていただきます。

(八木（志）委員)

各調査の抽出方法について、具体的に教えてほしいです。

(平林課長)

市内 30 圏域の人口分布及び要介護度分布を考慮し、按分して抽出しています。

(富安会長)

続いて、「第 10 期介護保険事業計画作成のための実態調査（在宅介護実態調査）」に移ります。杉山委員事前にご意見があったようですが、いかがでしょうか。

(杉山委員)

「あなた」というのが、調査対象者本人なのか、代筆者なのか分かりづらい質問がいくつかあったため、意見させていただきました。

(平林課長)

No32 の「あなた」は調査対象者を指します。実際送付する調査票には、調査票の冒頭に注釈を加え、回答者が分かりやすいものとします。

なお、回答者の誤認を防ぐため、「あなた」という表記は削除しました。

(国京委員)

調査対象者への質問に対して、介護者が調査対象者の代筆をした場合、回答に介護者の気持ちが混ざり、調査対象者の気持ちが上手く反映されないのではないのでしょうか。分析の際に、きちんと切り分けがされているのか、工夫がされているのかお伺いしたいです。

また、有効回答数が 1,000 件ということだが、回答者を調査対象者本人に絞った場合、本人の意見がどれくらい聞いているのかも併せてお伺いしたいです。

(平林課長)

調査票を送る際に、回答対象者の区別ができるように分けて送付を行う予定です。

また、回答者の切り分けについてですが、確実にできているかといわれるとできてはいませんが本人の意見については、国が必要としている有効回答数分は補えていると考えております。調査票の回答が誰の気持ちなのかということについては、調査票を送る段階で、うまい表現ができないか検討させていただきます。

(国京委員)

主語が抜けている箇所について、代筆者が回答中に主語が「代筆者」に変換されてしまうおそれがある。本人の意思と反して、代筆者が回答してしまうこともあるため主語を「あなたは」ではなく、「要介護認定者は」など明確化した方が良いのではないのでしょうか。

(平林課長)

今回どこまでを反映できるかは分かりませんが、反映可能な箇所は、反映しそれ以外は次回調査の課題とさせていただきます。

(青木（皓）委員)

問 14 などの心配事の相談先として、「弁護士、税理士」などがあってもいいかなと思いました。

「ACP」の削除項目について、任意後見契約など成年後見に係る意見を聞いてみてもよいのではないのでしょうか。

(富安会長)

様々な意見を参考として、より良いものを作成頂ければと思います。

【報告事項】

第9期介護保険事業計画進捗状況報告について

(平林課長)

資料説明(資料3)

(富安会長)

ただ今の説明を受け、意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

(杉山委員)

訪問介護が伸びている要因として住宅型有料に併設されている訪問介護が伸びていることが考えられます。前回の改定時もそれらが考慮されて介護報酬が下げられてしまったが、実際の在宅の訪問介護は非常に大変だということを理解いただければと思います。

(平林課長)

訪問介護の報酬の差別化については、来年の制度改正、報酬改定がある中で国の分科会でも協議が行われていると聞いています。情報が入り次第共有させていただきます。

(八木(大)委員)

介護保険サービス施設の空きなどを耳にする一方で、ヘルパーの不足が見てとれるためヘルパー不足に対する対策があるとよいと考えます。

(平林課長)

県が今年度中に事業所の総合相談窓口の設置を予定しており、県や県下市町と連携しながら訪問介護やケアマネなど介護事業所に対して寄与できればと考えております。

(富安会長)

時間の関係もありますので、当分科会での質疑応答は、これでいったん終了とさせていただきます。